

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科							
科目名	アカデミック有機化学Ⅰ・アカデミック有機化学							
科目区分	専門科目	科目コード	310100	単位数	2単位	開講時期	2年次前期	
必修・選択の別	選択科目							
担当者	藤井政幸							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・脂肪族および芳香族炭化水素の構造と反応性を理解する。 ・アルコールおよびエーテルの構造と反応性を理解する。 ・ハロゲン化合物の構造と反応性を理解する。 ・アミンの構造と反応性を理解する。 							
日程と内容	<p>4月12日：第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、有機化学の位置づけと他の科目との関連について説明。電子軌道、結合、ルイス電子式</p> <p>4月19日：第2回：脂肪族炭化水素の反応と合成法</p> <p>4月26日：第3回：脂肪族炭化水素の立体化学</p> <p>5月10日：第4回：芳香族炭化水素の合成法</p> <p>5月17日：第5回：芳香族炭化水素の反応</p> <p>5月19日：第6回：第1回臨時試験</p> <p>5月24日：第7回：アルコール、エーテルの合成法</p> <p>5月31日：第8回：アルコールの反応</p> <p>6月7日：第9回：エーテルの反応</p> <p>6月14日：第10回：ハロゲン化合物の合成法と反応</p> <p>6月21日：第11回：第2回臨時試験</p> <p>6月28日：第12回：アミンの性質</p> <p>7月5日：第13回：アミンの合成法と反応</p> <p>7月12日：第14回：第3回臨時試験</p> <p>7月26日：定期試験</p> <p>8月5日：第15回：まとめ</p>							
成績評価基準	定期試験	50%	実技	0%	臨時試験	30%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度	受講者数41、定期試験受験者数33、合格者数31、合格率94%であり、ほとんど前回欠席した学生9名を除くと多くの学生が十分な理解度に達したと考えることができ、授業目標はほぼ達成できたと言える。授業評価平均8.1。							
反省点	この科目は選択科目であり、1年生で履修する有機化学1、有機化学2の理解を踏まえて発展的な内容を講義する科目であるので、1年生時の基礎力が不十分な学生にとってはやや、高度な内容となっかかもしれない。できるだけ、1年生時の内容の復習から導入したつもりではあるが、基礎力の充実と応用力の養成を両立できるようにさらに工夫したい。							
来年度の計画	本年度はさらに演習を充実させ実践的な学力の養成に努めたい。学生の理解度を確認しながら内容のレベルもさらに高くしたいと考えている。							
授業評価アンケートに対するコメント	できるだけシンプルに説明することを心掛けたので、説明が分かりやすかったとの感想を多く得た。一方で、説明が早すぎた、黒板の板書のスピードについていけなかったとの感想もあったので気をつけたいと思う。							
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	33名	合格者数	31名	合格率	94%	